



## 2023年4月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年6月8日

上場会社名 株式会社ビューティガレージ 上場取引所 東  
 コード番号 3180 URL <https://www.beautygarage.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO兼COO (氏名) 野村 秀輝  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理グループ統括 (氏名) 齋藤 高広 (TEL) 03-6805-9785  
 定時株主総会開催予定日 2023年7月27日 配当支払開始予定日 2023年7月28日  
 有価証券報告書提出予定日 2023年7月28日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年4月期の連結業績(2022年5月1日~2023年4月30日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年4月期	26,429	12.9	1,357	12.9	1,354	11.5	865	21.8
2022年4月期	23,401	19.4	1,202	20.1	1,215	12.5	709	8.5

(注) 包括利益 2023年4月期 851百万円(13.9%) 2022年4月期 747百万円(10.7%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年4月期	136.99	—	15.3	12.0	5.1
2022年4月期	112.63	—	14.4	11.8	5.1

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年4月期	12,063	6,244	50.0	955.79
2022年4月期	10,548	5,468	50.0	835.20

(参考) 自己資本 2023年4月期 6,036百万円 2022年4月期 5,270百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年4月期	998	△197	△102	3,362
2022年4月期	712	△439	△188	2,670

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年4月期	—	0.00	—	16.00	16.00	100	14.2	2.0
2023年4月期	—	0.00	—	20.00	20.00	126	14.6	2.2
2024年4月期(予想)	—	12.00	—	12.00	24.00		16.1	

(注) 2023年4月期期末配当金の内訳 記念配当 2円00銭 特別配当 一円一銭

## 3. 2024年4月期の連結業績予想(2023年5月1日~2024年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,393	13.8	651	27.8	651	27.3	373	7.2	59.17
通期	30,158	14.1	1,561	15.0	1,563	15.4	943	9.0	149.31

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無  
新規 一社（社名）－ 、除外 一社（社名）－

期中における重要な子会社の異動に関する注記

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示に関する注記

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年4月期	6,376,000株	2022年4月期	6,376,000株
② 期末自己株式数	2023年4月期	59,968株	2022年4月期	65,755株
③ 期中平均株式数	2023年4月期	6,314,370株	2022年4月期	6,303,601株

発行済株式数に関する注記

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(会計方針の変更) .....	13
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	16
(重要な後発事象) .....	17

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、コロナ禍からの行動制限の緩和や水際対策の緩和によるインバウンド需要の回復等により、徐々にコロナ禍前の経済環境へと回復しつつあります。一方でエネルギー料金や食品をはじめとする各種商品の値上げなど物価高による家計への影響、ロシアによるウクライナへの侵攻を契機とした地政学的なリスクの顕在化、世界的なインフレ抑制のための金利上昇に伴う金融引き締めもあり、引き続き先行きが不透明な状況が続いております。

美容サロン業界におきましては、コロナ禍での行動制限緩和を契機に、来店客数の増加や顧客単価の上昇など、緩やかではありますが回復基調が続いております。

そのような状況下、当社グループでは取扱商品数の拡大、ECサイト利用頻度の向上、提供サービスの強化、業界内での認知拡大等に注力してまいりました。円安に伴う海外からの仕入れコスト増、光熱費増や各種物価高等によるコスト上昇要因もあり、経営成績に一定の影響を及ぼしましたが、美容商材流通のデジタル化促進を背景に順調に業容を拡大することが出来ました。

この結果、当連結会計年度における売上高は26,429百万円（前年同期比12.9%増）、売上総利益は6,721百万円（前年同期比10.3%増）、営業利益は1,357百万円（前年同期比12.9%増）、経常利益は1,354百万円（前年同期比11.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は865百万円（前年同期比21.8%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### ①物販事業

物販事業におきましては、インターネット通販サイト「BEAUTYGARAGE Online Shop」、全国主要都市のショールーム&ストア+法人営業チーム、カタログ通販誌「BG STYLE」および各グループ会社を通して、理美容機器や化粧品・消耗品等のプロ向け美容商材を、国内外の理美容室、エステサロン、リラクゼーションサロン、ネイルサロン、アイラッシュサロン、フリーランスのビューティシャン向けに提供しております。

当連結会計年度におきましては、ECサイトのUI/UXの着実な改善と進化を継続することに加えて、ECアプリの全面リニューアル、仙台支店の移転リニューアルOPEN、取り扱いブランドの拡充など、美容商材流通のプラットフォームとしての役割強化に注力した結果、EC売上高は18,089百万円（前年同期比23.1%増）、リピート商材である化粧品・材料売上高は12,272百万円（前年同期比24.5%増）と大きく成長することが出来ました。一方で、年度を通して円安および原材料・輸送費高騰による原価率の上昇という課題にも直面しましたが、スケールメリットの創出・販管費の圧縮・価格転嫁等によって利益率低下の抑制に努めてまいりました。

この結果、物販事業全体としての売上高は21,725百万円（前年同期比17.3%増）、セグメント利益は1,112百万円（前年同期比16.6%増）となりました。

#### ②店舗設計事業

店舗設計事業におきましては、連結子会社である株式会社タフデザインプロダクトにより、東京・金沢・名古屋・大阪・福岡の5拠点において店舗設計・工事施工管理を提供しております。トレンドを捉えたデザイン性の高い店舗設計の提案を行うことで美容サロンをはじめとした独立開業を目指す顧客から高い支持を得ており、新規開業顧客に加えて、大手チェーン店本部からの受注も獲得してまいりました。当連結会計年度におきましては、大型案件獲得による平均案件単価の上昇や美容クリニックなど美容サロン以外の顧客開拓が進んだ一方で、一部の中堅社員が抜けた影響が続き、案件受託数が落ち込みました。

この結果、当事業の売上高は3,119百万円（前年同期比19.1%減）、セグメント利益は185百万円（前年同期比31.0%減）となりました。

#### ③その他周辺ソリューション事業

その他周辺ソリューション事業におきましては、ビューティサロンの開業と経営に必要なサポートとして、開業プロデュース、居抜き物件仲介、決済支援、集客支援、講習・アカデミー、損害保険、システム導入支援、店舗リース、M&A仲介、提携ビジネスカード、低コスト電力の供給等の各種ソリューションサービスを、各種専門WEBサイトと全国主要都市のショールームと法人営業部隊、各グループ会社を通して提供しております。これらは、物販事業、店舗設計事業との連動で顧客に対し、開業支援から経営支援まで幅広いサービスをワンストップで提供することが可能となっております。

当連結会計年度におきましては、新たにマーケティング支援サービスや洗濯代行サービス等を提供開始し、サービスラインナップを拡充すると共に、店舗リース、提携ビジネスカード、損害保険をはじめ、各サービスが堅調に伸長したことにより、当事業の売上高は1,584百万円（前年同期比54.5%増）、セグメント利益は246百万円（前年同期比98.1%増）となっております。

## (2) 当期の財政状態の概況

### (流動資産)

当連結会計年度末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて18.6%増加し、9,739百万円となりました。これは、主に現金及び預金と売上債権の増加があったことによるものであります。

### (固定資産)

当連結会計年度末における固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.4%減少し、2,323百万円となりました。これは、主に投資その他の資産は増加したものの、有形固定資産及び無形固定資産の償却による減少があったことによるものであります。

### (流動負債)

当連結会計年度末における流動負債は、前連結会計年度末に比べて13.6%増加し、4,463百万円となりました。これは、主に仕入債務と未払法人税等の増加によるものであります。

### (固定負債)

当連結会計年度末における固定負債は、前連結会計年度末に比べて17.8%増加し、1,355百万円となりました。これは、主に長期借入金は減少したものの、契約負債の増加があったことによるものであります。

### (純資産)

当連結会計年度末における純資産は、前連結会計年度末に比べて14.2%増加し、6,244百万円となりました。これは、主に配当金の支払に伴い利益剰余金の減少100百万円があったものの、親会社株主に帰属する当期純利益の計上に伴い利益剰余金の増加865百万円があったことによるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ691百万円増加し、3,362百万円増加となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、998百万円増加（前年同期は712百万円増加）となりました。これは、主に引当金及び仕入債務の増加があったものの、棚卸資産及び売上債権の増加があったことによるものであります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果増加した資金は、197百万円減少（前年同期は439百万円減少）となりました。これは、主に無形固定資産の取得及び敷金・保証金の差入れによる支出があったものの、子会社における有形固定資産の売却による収入があったことによるものであります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、102百万円減少（前年同期は188百万円減少）となりました。これは、借入債務の返済による支出及び配当金の支払による支出があったことによるものであります。

#### (4) 今後の見通し

今後の美容業界におきましては、引き続きコロナ禍から平常モードへの移行が進み、来店客数の増加や顧客単価の上昇などサロンの経営環境が好転していくことが予想されます。当社にも好影響が予想される一方で、当社ビジネスにおいては、円安の進行、原材料高・エネルギーコストの上昇といった厳しい事業環境が続くことも見込まれております。

そのような見通しの中で、当社は業務効率の改善やスケールメリットの創出によって価格競争力の維持や提供サービスのレベルアップを図り、BtoB美容業界向けECプラットフォームとしての圧倒的な地位を確立してまいりたいと考えております。

2024年4月期は、ECサイトのUI/UXの進化・改善を進めていくとともに、引き続き商品ラインアップの拡充、提供サービスの強化を目指してまいります。また、デジタル化促進が見込まれる美容業界の中で更なるシェア獲得に注力してまいります所存です。

以上により、2024年4月期の連結業績予想につきましては、売上高30,158百万円（前年同期比114.1%）、営業利益1,561百万円（前年同期比115.0%）、経常利益1,563百万円（前年同期比115.4%）、親会社に帰属する当期純利益943百万円（前年同期比109.0%）を見込んでおります。

なお、上記に記載した将来に関する記述につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて判断したものでありますが、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

#### (5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であるため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年4月30日)	当連結会計年度 (2023年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,686,739	3,383,182
受取手形、売掛金及び契約資産	2,133,598	2,662,700
リース投資資産	146,279	188,990
営業投資有価証券	219,585	179,659
商品及び製品	2,320,436	2,562,505
仕掛品	119,720	106,504
前渡金	267,938	162,193
その他	332,030	509,071
貸倒引当金	△11,268	△14,883
流動資産合計	8,215,061	9,739,925
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	211,315	219,925
機械及び装置（純額）	38,691	36,897
車両運搬具（純額）	3,335	2,019
工具器具備品（純額）	71,072	59,806
土地	171,353	38,099
その他	—	20,774
有形固定資産合計	495,768	377,523
無形固定資産		
ソフトウェア	368,140	308,956
のれん	361,218	277,712
その他	26,609	23,539
無形固定資産合計	755,968	610,208
投資その他の資産		
投資有価証券	81,351	85,083
繰延税金資産	210,759	278,420
敷金保証金	733,688	890,690
その他	56,121	84,715
貸倒引当金	△589	△2,748
投資その他の資産合計	1,081,331	1,336,161
固定資産合計	2,333,069	2,323,893
資産合計	10,548,130	12,063,819

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年4月30日)	当連結会計年度 (2023年4月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,637,216	1,752,390
短期借入金	15,000	15,000
1年内返済予定の長期借入金	418,252	454,237
未払金	383,073	413,393
未払法人税等	234,339	321,576
前受金	529,202	632,438
賞与引当金	75,516	79,629
製品保証引当金	12,364	14,027
受注損失引当金	3,946	445
株主優待引当金	3,900	3,900
株式報酬引当金	16,307	34,056
その他	599,427	742,220
流動負債合計	3,928,547	4,463,314
固定負債		
長期借入金	810,852	769,311
退職給付に係る負債	6,919	5,865
契約負債	167,415	212,833
資産除去債務	60,877	65,163
その他	104,740	302,699
固定負債合計	1,150,805	1,355,871
負債合計	5,079,352	5,819,186
純資産の部		
株主資本		
資本金	768,385	768,385
資本剰余金	780,534	771,686
利益剰余金	3,822,488	4,586,557
自己株式	△104,307	△95,247
株主資本合計	5,267,100	6,031,381
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	3,185	5,389
その他の包括利益累計額合計	3,185	5,389
非支配株主持分	198,492	207,862
純資産合計	5,468,778	6,244,632
負債純資産合計	10,548,130	12,063,819



## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年5月1日 至 2022年4月30日)	当連結会計年度 (自 2022年5月1日 至 2023年4月30日)
売上高	23,401,306	26,429,547
売上原価	17,307,407	19,707,869
売上総利益	6,093,898	6,721,677
販売費及び一般管理費	4,891,897	5,364,358
営業利益	1,202,001	1,357,318
営業外収益		
受取利息及び配当金	75	1,832
為替差益	3,970	—
受取手数料	4,091	7,308
助成金収入	12,257	1,172
債権譲渡益	—	6,098
その他	6,206	6,017
営業外収益合計	26,601	22,428
営業外費用		
支払利息	6,624	4,844
為替差損	—	6,552
貸倒引当金繰入額	—	8,000
障害者雇用納付金	2,450	1,250
その他	4,371	4,771
営業外費用合計	13,446	25,418
経常利益	1,215,156	1,354,328
特別利益		
固定資産売却益	—	46,431
特別利益合計	—	46,431
特別損失		
投資有価証券評価損	—	96,323
減損損失	21,638	—
商品廃棄損	19,471	—
特別損失合計	41,110	96,323
税金等調整前当期純利益	1,174,046	1,304,436
法人税、住民税及び事業税	427,623	521,567
法人税等調整額	15,737	△67,156
法人税等合計	443,361	454,410
当期純利益	730,684	850,026
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	20,727	△15,007
親会社株主に帰属する当期純利益	709,957	865,033

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年5月1日 至 2022年4月30日)	当連結会計年度 (自 2022年5月1日 至 2023年4月30日)
当期純利益	730,684	850,026
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	16,712	1,484
その他の包括利益合計	16,712	1,484
包括利益	747,397	851,511
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	719,736	867,109
非支配株主に係る包括利益	27,661	△15,598

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年5月1日 至 2022年4月30日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	768,385	745,871	3,200,609	△134,002	4,580,863
当期変動額					
剰余金の配当			△88,078		△88,078
親会社株主に帰属する当期純利益			709,957		709,957
自己株式の取得				△431	△431
自己株式の処分		45,577		30,126	75,703
連結子会社の増資による持分の増減		8,205			8,205
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△19,119			△19,119
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	34,662	621,878	29,694	686,236
当期末残高	768,385	780,534	3,822,488	△104,307	5,267,100

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△6,593	△6,593	159,185	4,733,456
当期変動額				
剰余金の配当				△88,078
親会社株主に帰属する当期純利益				709,957
自己株式の取得				△431
自己株式の処分				75,703
連結子会社の増資による持分の増減				8,205
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動				△19,119
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	9,779	9,779	39,306	49,085
当期変動額合計	9,779	9,779	39,306	735,321
当期末残高	3,185	3,185	198,492	5,468,778

当連結会計年度(自 2022年5月1日 至 2023年4月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	768,385	780,534	3,822,488	△104,307	5,267,100
当期変動額					
剰余金の配当			△100,963		△100,963
親会社株主に帰属する当期純利益			865,033		865,033
自己株式の取得				△248	△248
自己株式の処分		6,564		9,308	15,872
連結子会社の増資による持分の増減		△15,412			△15,412
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△8,848	764,069	9,059	764,280
当期末残高	768,385	771,686	4,586,557	△95,247	6,031,381

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	3,185	3,185	198,492	5,468,778
当期変動額				
剰余金の配当				△100,963
親会社株主に帰属する当期純利益				865,033
自己株式の取得				△248
自己株式の処分				15,872
連結子会社の増資による持分の増減				△15,412
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動				—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	2,203	2,203	9,370	11,574
当期変動額合計	2,203	2,203	9,370	775,854
当期末残高	5,389	5,389	207,862	6,244,632

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年5月1日 至 2022年4月30日)	当連結会計年度 (自 2022年5月1日 至 2023年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,174,046	1,304,436
減価償却費	210,445	229,693
減損損失	21,638	—
商品廃棄損	19,471	—
のれん償却額	102,547	83,506
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	—	96,323
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,622	5,773
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△127,144	—
契約負債の増減額 (△は減少)	167,415	45,417
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	45	1,662
株式報酬引当金の増減額 (△は減少)	22,584	33,622
その他の引当金の増減額 (△は減少)	3,764	△441
受取利息及び受取配当金	△75	△1,832
支払利息	6,624	4,844
助成金収入	△12,257	△1,172
有形固定資産売却損益 (△は益)	△82	△47,340
固定資産除却損	860	74
売上債権の増減額 (△は増加)	△320,810	△538,618
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△173,119	△282,642
仕入債務の増減額 (△は減少)	△198,865	115,173
前渡金の増減額 (△は増加)	206,798	105,744
未払金の増減額 (△は減少)	100,634	29,929
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△19,401	77,161
未払費用の増減額 (△は減少)	△11,603	5,624
前受金の増減額 (△は減少)	79,917	103,710
その他	△11,393	71,559
小計	1,240,416	1,442,212
利息及び配当金の受取額	75	1,832
利息及び保証料の支払額	△6,374	△4,786
助成金の受取額	12,257	1,172
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△534,325	△442,062
営業活動によるキャッシュ・フロー	712,049	998,367

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年5月1日 至 2022年4月30日)	当連結会計年度 (自 2022年5月1日 至 2023年4月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△22,500	△22,200
定期預金の払戻による収入	20,700	17,400
有形固定資産の取得による支出	△71,702	△68,112
有形固定資産の売却による収入	94	187,909
無形固定資産の取得による支出	△181,671	△96,837
投資有価証券の取得による支出	—	△50,005
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△6,579	—
敷金保証金の差入による支出	△189,702	△169,402
敷金保証金の回収による収入	13,499	8,603
その他	△1,272	△5,272
投資活動によるキャッシュ・フロー	△439,134	△197,916
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	15,000	10,000
短期借入金の返済による支出	△10,000	△10,000
長期借入れによる収入	420,000	530,000
長期借入金の返済による支出	△521,158	△535,556
リース債務の返済による支出	△4,653	△5,534
自己株式の取得による支出	△431	△248
非支配株主からの払込みによる収入	23,956	15,200
配当金の支払額	△88,001	△100,987
非支配株主への配当金の支払額	△3,877	△5,632
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△19,119	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△188,285	△102,758
現金及び現金同等物に係る換算差額	14,178	△6,048
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	98,806	691,642
現金及び現金同等物の期首残高	2,572,182	2,670,989
現金及び現金同等物の期末残高	2,670,989	3,362,632

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、商品・サービス別のセグメントから構成されており、「物販事業」、「店舗設計事業」及び「その他周辺ソリューション事業」の3つを報告セグメントとしております。

「物販事業」は、理美容室やエステティックサロン・ネイルサロン等の各種ビューティサロンで使用する理美容機器・化粧品等の仕入、販売を行っております。「店舗設計事業」は、店舗の内装工事等に関する設計・施工・監理を行っております。「その他周辺ソリューション事業」は、理美容室やビューティサロンに対する不動産仲介・開業支援・ITサポート・保険事業等を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

## 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度(自 2021年5月1日 至 2022年4月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リユーション 事業	計		
売上高						
理美容機器・用品	8,078,621	—	—	8,078,621	—	8,078,621
化粧品等	9,856,060	—	—	9,856,060	—	9,856,060
金属スチール家具	584,138	—	—	584,138	—	584,138
その他	—	3,856,743	1,025,741	4,882,485	—	4,882,485
顧客との契約から生じる収益	18,518,820	3,856,743	1,025,741	23,401,306	—	23,401,306
外部顧客への売上高	18,518,820	3,856,743	1,025,741	23,401,306	—	23,401,306
セグメント間の内部売上高 又は振替高	37,255	5,257	5,191	47,705	△47,705	—
計	18,556,076	3,862,001	1,030,933	23,449,011	△47,705	23,401,306
セグメント利益	954,310	269,208	124,495	1,348,014	△146,013	1,202,001
その他の項目						
減価償却費	192,935	10,501	6,355	209,793	651	210,445
のれんの償却費	102,547	—	—	102,547	—	102,547

- (注) 1. セグメント利益の調整額△146,013千円には、セグメント間取引消去36,776千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△182,789千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。
3. セグメント資産及び負債については、取締役会に対して定期的に提供されておらず、経営資源の配分決定及び業績評価の検討対象となっていないため記載しておりません。
4. 報告セグメントに対して特定の資産は配分しておりませんが、減価償却費等の関連費用は配分しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「物販事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当連結会計年度においては21,638千円であります。



当連結会計年度(自 2022年5月1日 至 2023年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報  
(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リューション 事業	計		
売上高						
理美容機器・用品	8,894,035	—	—	8,894,035	—	8,894,035
化粧品等	12,272,810	—	—	12,272,810	—	12,272,810
金属スチール家具	558,594	—	—	558,594	—	558,594
その他	—	3,119,308	1,584,797	4,704,106	—	4,704,106
顧客との契約から生じる収益	21,725,440	3,119,308	1,584,797	26,429,547	—	26,429,547
外部顧客への売上高	21,725,440	3,119,308	1,584,797	26,429,547	—	26,429,547
セグメント間の内部売上高 又は振替高	25,451	16,987	11,545	53,985	△53,985	—
計	21,750,892	3,136,296	1,596,343	26,483,532	△53,985	26,429,547
セグメント利益	1,112,253	185,850	246,684	1,544,787	△187,468	1,357,318
その他の項目						
減価償却費	213,415	7,918	6,535	227,869	1,823	229,693
のれんの償却費	83,506	—	—	83,506	—	83,506

- (注) 1. セグメント利益の調整額△187,468千円には、セグメント間取引消去28,272千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△215,741千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。
3. セグメント資産及び負債については、取締役会に対して定期的に提供されておらず、経営資源の配分決定及び業績評価の検討対象となっていないため記載しておりません。
4. 報告セグメントに対して特定の資産は配分しておりませんが、減価償却費等の関連費用は配分しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報」に記載のとおりであります。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年5月1日 至 2022年4月30日)	当連結会計年度 (自 2022年5月1日 至 2023年4月30日)
1株当たり純資産額※3	835.20 円	955.79 円
1株当たり当期純利益金額※2	112.63 円	136.99 円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額※1	— 円	— 円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2021年5月1日 至 2022年4月30日)	当連結会計年度 (自 2022年5月1日 至 2023年4月30日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	709,957	865,033
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	709,957	865,033
普通株式の期中平均株式数(株)	6,303,601	6,314,370

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2022年4月30日)	当連結会計年度 (2023年4月30日)
純資産の部の合計額(千円)	5,468,778	6,244,632
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	198,492	207,862
(うち非支配株主持分(千円))	(198,492)	(207,862)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	5,270,286	6,036,770
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の 数(株)	6,310,245	6,316,032

(重要な後発事象)

(連結子会社の吸収合併)

当社は、2023年3月8日開催の取締役会において、当社を存続会社、当社の完全子会社である株式会社和楽を消滅会社とする吸収合併を行うことを決議し、2023年5月1日付で吸収合併をいたしました。

1. 企業結合の概要

(1) 被結合企業の名称及び事業内容

名称：株式会社和楽

事業の内容：美容業務用品等の卸売業

(2) 企業結合日

2023年5月1日

(3) 企業結合の法的形式

当社を存続会社、株式会社和楽を消滅会社とする吸収合併

(4) 結合後企業名称

株式会社ビューティガレッジ

(5) 企業結合の目的

グループ内の経営資源の集約化及び効率化を行うことにより、更なる営業・サービス体制の強化を図ることを目的としております。

2. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として処理する予定です。